

## 2021年度 社会福祉法人恵の実 事業報告書

### 1、理念

ひとり一人の意欲を大切に、たくましく、かしこく、やさしく育つことを願いながら、発達の弱さをもつ子どもの含め、0歳から学童、大人まで共に育ち合う共同の子育てをめざします。

### 2、今年目標

法人設立から10年を経過し、昨年度の課題を引き継ぎつつ、世代交代への準備期間である今後の5年を見越し、また10年後の新事業の模索をしながら法人運営全体を見直す。

### 3. 理事会、評議員会開催状況

#### (1) 理事会

開催日	審議内容	審議結果
第1回 理事会 令和3年 6月9日(水)	第1号議案 令和2年度 事業報告の件 第2号議案 令和2年度 決算報告の件 第3号議案 令和3年度 任期満了に伴う新役員候補推薦の件 第4号議案 令和3年度 任期満了に伴う新評議員候補推薦の件 第5号議案 定時評議員会 開催の件 第6号議案 土地持分購入の件 第7号議案 保育所施設・設備整備積立金取り崩しの件 第8号議案 令和3年度 第1次補正予算の件 ・監事監査報告 ・理事長専決事項の報告	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第2回 理事会 令和3年 6月25日(金)	第1号議案 理事長選任の件 第2号議案 業務執行理事選任の件 第3号議案 任期満了に伴う評議員選任解任委員選任の件 第4号議案 恵の実保育園 運営規程 改訂の件 ・理事長専決事項の報告	承認 承認 承認 承認
第3回 理事会 令和3年 11月2日(火)	第1号議案 土地購入の件 第2号議案 令和3年度 第2次補正予算の件 ・理事長、業務執行理事の報告 ・令和3年度 上半期決算報告 ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団(中京馬主協会)の施設整備助成による車両購入の件	承認 承認

第4回 理事会 令和4年 3月24日(木)	第1号議案	第三次補正予算案の件	承認
	第2号議案	定款変更の件	承認
	第3号議案	就業規則 改訂の件	承認
	第4号議案	令和4(2022)年度事業計画案の件	承認
	第5号議案	令和4(2022)年度当初予算案の件	承認
	第6号議案	恵の実保育園 運営規程 改訂の件	承認
	第7号議案	恵の実「ホップくん」 運営規程 改訂の件	承認
	第8号議案	恵の実「ステップくん」 運営規程 改訂の件	承認
	第9号議案	相談支援事業所「恵の実」 運営規程 改訂の件	承認
	第10号議案	日中一時支援事業ホップくん 運営規程 改訂の件 ・行政監査報告(愛知県福祉部、東三河広域連合) ・理事長・業務執行理事の報告	承認

## (2) 評議員会

第1回 定時評議員会 令和3年 6月25日(金)	第1号議案	令和2年度 決算報告の件	承認
	第2号議案	定款変更の件	承認
	第3号議案	令和3年度 新役員選任の件 ・令和2年度 事業報告の件 ・「あいちのふくし」掲載の件 ・監事監査報告	承認

## 4、実施事項

### (1) 理念の周知・浸透

今年度も法人の理念を保育説明会等で利用者に周知・浸透を図った。また保護者にも、クラス会で保育方針や保育目標を伝える際に、理念を伝えている。

職員にも職員会議等の機会に、理念を周知し、それに向けての保育目標、保育計画、実行であることを伝えた。また入職希望者への説明会でも法人理念を第一に伝え、理解していただくようにした。

法人外に向けても、お便り等で、法人の理念を周知してきた。

### (2) 次世代の育成

世代交代5年計画の2年目である。

#### ① 個別研修状況一覧の作成

・課題となっていた個別研修状況一覧を作成することができた。これに基づき、今後も計画的な研修の受講をすすめ、実績の記録を残していく。

#### ② 新入職員を確保する。

・各大学の実習懇談会に参加するなどして実習生を積極的に受け入れ、学生と繋がる機会を設けた。

- ・早期からの求人募集と共に、入園希望の保護者の中にも有資格者がいるので、保育士を募集していることを伝え、確保することができた。
- ・今後の世代交代に向け、職員の希望を聞き、特質を活かしながら、計画的に体制作りを進めてきた。この体制計画を副主任、リーダー等の中堅層とも共有し、中期計画とも併せつつ、各々の今後の目標につなげていってもらっている。

### (3) 防災・安全管理

南海トラフ地震対策として、以下のことを実施してきた。

(ア) 新型コロナウイルス感染症の状況により、以下の研修・講習は実施できなかった。

- ・防災研修の実施
- ・日本赤十字の安全講習受講（救急法、幼児安全法）

(イ) 設備・備品の計画的整備

全事業所で統制を図りながら、優先度を決め必要な備品・設備を揃えていく。

- ・非常時に使う必需品を購入した（紙おしめ、保存用ミルク、使い捨て哺乳瓶、ウエットティッシュ等）。
- ・保育園は赤い羽根共同募金の補助で非常用発電システムを購入する予定である。
- ・災害時対策用品の整備をしていく（毛布、担架等）。

(ウ) 安全管理委員会による安全対策の検討・整備

- ・新年度に向けて、各設備（電源、水、ネットワーク等）の位置・復旧方法の確認と周知、法人全体の災害対応体系図の再整備をした。
- ・重傷者を想定した救急訓練の実施をしていく。

### (4) 土地問題

恵の実保育園は認可の時点から土地を借りて事業運営をおこなってきており、可能であれば土地を購入したいと考えてきたが、地主の方のご理解により、今年度、一部を購入させていただけた。法人の安定的な運営の為にも、土地購入は大変な前進である。

また、次年度にはさらに一部を購入できる予定である。

### (5) 施設の整備

経年劣化による大規模・小規模な修繕が増えている。安全な保育環境の整備と防災・安全対策を行う必要があり、優先順位を決め、計画的に取り組んでいる。

#### ① 修繕

- ・保育園テラスの補修
- ・借用農地の柵の修繕
- ・建具や外壁・床面の塗装
- ・給食室の器具等の補修、買い替え

#### ② 園庭、柿畑、基地をより魅力ある環境に変えていく。

- ・赤い羽根の共同募金により 11 月にジャングルジムが設置された。
- ・園庭および周辺の土地の定期的な草取りと水路の清掃をしてきた。

- ・ 柿畑で子どもたちが野菜の栽培をしたり、基地作りをして遊べるようにした。
- ・ 赤塚山横の学童基地を年長世帯のお父さんを中心に整備していただいた。

(6) 利用者が意見を出しやすい環境作り

利用者や保護者の意見や苦情を保育の改善や問題の解決に活かすようにしている。  
第三者評価における改善事項も踏まえ、下記のとおり実施している。

- ① 定期的な保護者・利用者アンケートの実施をしている。
- ② 意見箱の設置をおこなっている。
- ③ 聞き取った意見や苦情をもらさず共有するよう職員会議にて周知している。

(7) 事故報告

7月	法人車と職員の自家用車の接触により、互いの車が傷ついた。原因は、法人者をいつも停めている場所に別の車が停まっていたことにより、無理な駐車をおこなったことによる。今後は無理に駐車せず、別の駐車場に停めるようにする。
8月	草刈り作業中に法人車のリアガラスに小石が飛んで、割れてしまった。今後は、ロープソーの草刈り機を使用する場合は、15m以内に破損の可能性のある物があったら必ず撤去すること、また人がいるような場所では使用しないことを徹底する。
9月	職員が学童プールの飛び込み台から飛び込んだことにより、頸部挫傷のケガをし、労災認定を受けた。子ども用の飛び込み台であり、大人は絶対に飛び込まないように職員周知した。
11月	給食職員が柿を切っていて種を取り除こうとした時に、誤って包丁で左手中指を切傷してしまった。医師より左中指挫傷と診断され、11月10日より15日まで作業安静となった。労災認定を受けた。
2月	そり遊び中に保育園の5歳児がそりの転倒により大腿部骨折となり、2カ月の大怪我となってしまった。(詳細は保育園の下半期事業報告を参照) 災害共済と併せて民間の保険(国内旅行保険)の補償で対応した。

(8) 労働条件の改善

- ・ 2022年2月より始まった保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業の補助により、職員の賃金が改善した。
- ・ 子どもが新型コロナ感染症、またはその疑いによって、学校や保育所を休む際に生じた有給休暇は、小学校休業等対応助成金を利用して、特別有給休暇として対応するようになった。

## (9) 地域との連携

社会福祉法人の活動をより広く地域の方や他の福祉団体に知っていただくことは、法人の安定した運営や、人材や利用者の確保において有効であり、よき理解者・協力者を増やしていくことにもつながる。その為に、ホームページ、Instagramによる活動の紹介、法人便りの外部発送（他の福祉団体への送付等）などに取り組んだ。

近隣の老人福祉施設（さつき福祉会等）と園児との交流も、コロナの問題で3年続けて見送っているが、次年度、コロナの問題が収束したら、是非取り組みたいと考えている。その他、災害時、地域と協力し合える相互支援体制を作ることを今後検討していく。

## (10) 次年度の課題

- ・新型コロナウイルス感染症の状況次第ではあるが、次年度こそ、防災研修・日本赤十字の安全講習を受講できるようにしたい。
- ・恵の実「ステップくん」の災害対策として非常時発電システムを購入できるよう、補助金の申請をしていく。
- ・重傷者を想定した救急訓練の実施をしていく。
- ・災害時対策用品の整備をしていく（通信機器、毛布、担架等）。
- ・職員の通勤車両が駐車場の半分ほどを占めており、駐車場をどのように確保していくか課題である。
- ・保育園の園庭に一部水はけの悪い所があり、芝生を張るなどして対策していく。
- ・保育園テラスが一部腐食しており、引き続き修理をしてしのいでいるが、土台から修繕する必要がある。